

公表：令和6年3月9日		事業所名 多機能型事業所びっころ16				
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			子どもの人数や活動のねらいに合わせ、落ち着いて参加できるよう活動場所や教材の出し方を調整している。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○				
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			次の活動を理解しやすいよう、言葉だけでなく視覚的な手掛かりも活用して見通しを伝えている。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○				
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			支援中に見られた反応や気づきを共有し、次の活動設定や関わり方の調整に活かしている。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者から得た意見を職員間で確認し、日々の支援や説明方法を見直す材料としている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		第三者評価は実施していないため、自己評価や保護者評価から課題を整理し、改善につなげていく。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			支援に必要な知識や対応方法について職員間で確認し、学びを日々の関わりに反映できるよう努めている。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			家庭からの情報と事業所での様子を合わせて整理し、子どもの課題だけでなく得意なことも計画に反映している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを活用し、子どもの特徴や支援時に有効な関わり方を整理している。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			本人の発達支援に加え、家庭や就園・就学先とのつながりも踏まえて必要な支援内容を検討している。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			子どもの興味や最近の様子を踏まえ、活動のねらいと参加しやすい方法を職員間で検討している。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			同じ活動でも教材や役割、難易度を変え、利用する曜日によって経験が偏らないよう工夫している。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			集団の流れを大切にしながら、必要な子には個別の説明や待つ時間を設けて参加を支えている。	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日				支援開始前に体調や家庭からの連絡事項、活動上	

0	⑰	支援開始前には職員間で役割分担をし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援後の記録や気づきをもとに、うまくいった関わりと難しかった場面を共有している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			記録には活動の実施だけでなく、子どもの反応や支援者の関わりも残り、次の支援に活かせるよう意識している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			モニタリング時には日々の記録と家庭での変化を確認し、目標や支援方法の見直しにつなげている	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			関係機関との共有が必要な場合は、支援状況を整理し、子どもの様子を具体的に伝えられるようにしている。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要性がある場合は、保護者の意向を確認しながら関係機関との情報共有につなげている。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			対象児童なし。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				対象児童なし。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				対象児童なし。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			就園先等との連携が必要な場合は、事業所で有効だった関わり方や配慮点を整理して共有するようにしている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			就学を見据え、子どもが新しい環境でも力を発揮しやすいよう、必要な情報を保護者と確認している。	
0	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			専門機関から得られた助言等がある場合は、子どもの理解や支援方法を検討する際の参考としている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	交流の機会は限られているため、子どもの負担や支援上の目的を踏まえ、必要性に応じて方法を検討する。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	地域の会議等について情報収集を行い、支援に関係する内容を職員間で共有できるよう努める。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			家庭と事業所での様子に違いがある場合も含め、送迎時等のやり取りから共通理解を深めるようにしている。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○	保護者の困りごとに応じて具体的な関わり方を伝えているが、継続して家庭で活用しやすい伝え方を工夫する。	
保護者	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時等に運営内容や利用者負担について説明し、不明点を確認しながら進めるようにしている。	
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			個別支援計画の目標と具体的な支援内容のつながりが伝わるよう説明することを意識している。	
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談を受けた際は、家庭で困っている場面を具体的に確認し、事業所での様子と照らして対応を考えている。	
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者同士の交流については、ニーズを確認しながら事業所として可能な支援方法を検討する。	

への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談や申入れの内容を必要な職員で共有し、対応内容が職員によって変わらないよう確認している。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動の様子や支援の意図が伝わるよう、保護者への情報発信の内容を工夫している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報支援に必要な範囲で扱い、職員間でも取扱いに注意するよう確認している。	
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもや保護者の理解度に合わせ、説明の量や言葉調整するなど伝わりやすさを意識している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		地域との交流は限定的であるため、活動の目的と子どもの安全面を踏まえて実施の必要性を検討する。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			緊急時に必要な対応を職員間で確認し、子どもの安全を優先して動けるよう共通理解を持つようにしている。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難時の子どもの動きや支援上の配慮を確認し、安全な対応につなげている。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			服薬や発作等について保護者から得た情報を確認し、支援時に必要な職員へ共有している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			食物アレルギーについて保護者からの情報を確認し、誤提供等がないよう個別に対応している。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットを事故の有無だけで終わらず、起きた状況や関わり方を振り返り再発防止につなげている。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			子どもの気持ちや意思を尊重し、支援者側の都合だけで関わり方を決めないよう職員間で確認している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○			対象となる状況が生じた場合に適切な手続きと説明ができるよう、必要な対応を確認していく。

⑨ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表：令和6年3月9日

事業所名 多機能型事業所びっころ16

利用児童数：14家庭

回収数：10家庭

未回収：4家庭

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1	0	0		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	0	0	1		
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1	0	1		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	10	0	0	0		
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	1	0	0		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	1		
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	1	0	0		
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	1	1	4	園等との交流について、どのような機会があるのか分からない。	交流そのものを目的とせず、子どもの状況や支援上の必要性を踏まえ、必要な連携や機会について検討します。
	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	0	0	0		
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	9	0	0	1		
保護者への説明等	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	2	3	1	家庭での関わり方をもう少し具体的に知りたい。	日々の様子を踏まえ、家庭でも取り入れやすい声掛けや関わり方を具体的にお伝えできるよう努めます。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	8	1	0	1		
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1	1	1		
						保護者同士の話し合い機会	保護者のニーズを把握し、対応する

	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	5	2	保護者同士の協力はほとんどない。	保護者同士の協力を確認しながら、事業所として可能な情報提供や交流の方法を検討します。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	1	0	1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	1	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	1	0	1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	9	0	0	1		
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	1	0	4	避難訓練をしていることを詳しく知らなかった。	非常時の取組について、保護者にも分かりやすく伝えられるよう情報提供の方法を見直します。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1	0	5		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	10	0	0	0		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	9	1	0	0		

㉔ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。